



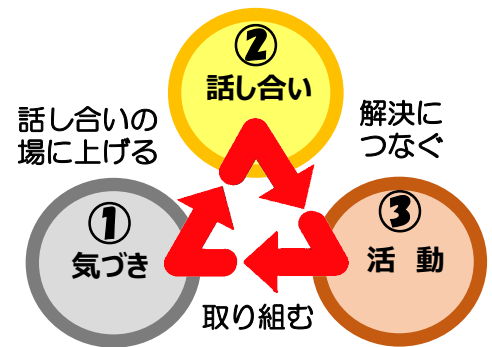
いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、どうすればいいのでしょうか？

趣味や特技を活かした活動やつどいの場を充実させて、笑顔があふれる地域、お互いさまの思いやりと支えあいの仕組みを地域の皆さんと一緒に考えていきます!!

大和郡山市社会福祉協議会では、「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」を目指して、地区社協と協働で、課題解決サイクル「地区社協 大和郡山モデル」の構築に向けて取り組んでいます。

- ①住民同士がつながりを持ち、生活・福祉課題に気づく（発見する）
- ②住民参加による生活・福祉課題を共有、解決する
- ③生活・福祉課題を共有し、新たな活動を生み出す

### 【地区社協 大和郡山モデル】



## 矢田おでかけGO運行中

矢田地区社協・移動支援部会では、「高齢者の移動支援」について検討を重ねた結果、令和3年8月より城ヶ丘自治会で「矢田おでかけGO」の運行が始まりました。令和4年4月からは、北矢田・横山自治会へも運行を拡大し、今後も運行範囲の拡大に向けて地元自治会と話し合いを進めています。

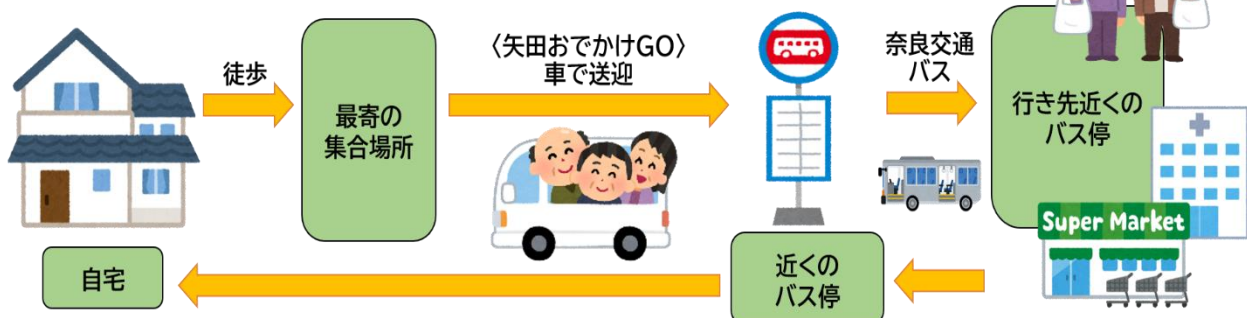


「矢田おでかけGO」は、自宅近くの集合場所からバス停までを地域の運転ボランティアが送迎するもので、利用料は無料です(ただし、登録料として1,000円必要)。

「矢田おでかけGO」は、住民同士の助け合い活動の一環として、①高齢者の閉じこもり防止、②外出することでの介護予防、③住民同士のコミュニケーションの促進を目的に運行しています。運行開始から1年が経過し、利用者同士のつながりもでき、和気あいあいとした雰囲気で行っています。また、運転ボランティアさんのやりがいにもつながっています。

矢田おでかけGOはボランティアさんの協力で運行しています。活動に関心のある方は、ぜひ矢田支所までご連絡ください。(電話 52-3404)

### 矢田おでかけGO 運行の仕組み



# 矢田サロン会館で“こども食堂”はじまる

地域の活性化・住民同士のつながりがもてる場をつくろうと、廃園となった矢田山保育園を活用して、地域住民が主体となって「矢田サロン会館」が運営されています。矢田地区社協では、「なごみの家委員会」を設置し、矢田サロン会館をモデルに、住民が気軽に集える場を地域のあちこちにつくことを目指して取り組みを行っています。

その一環として、令和4年3月よりこども食堂が開催することになりました。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、お弁当になったり、やむなく中止となったりしていますが、地域の子どもや高齢者など多世代が交流できる場として、今後もイベントを企画しています。

毎月第3土曜日に開催予定です。参加希望の方は、下記までご連絡ください。



## こども食堂

日時	毎月第3土曜日 12時(正午)～13時半
場所	矢田サロン会館 (旧・矢田山保育園)
参加費	大人 300円 中学生以下 100円

申込制  
定員 20人



矢田サロン会館

電話 53-5715(月～土曜日 午後1時～5時)

携帯 090-5046-9540(武智)

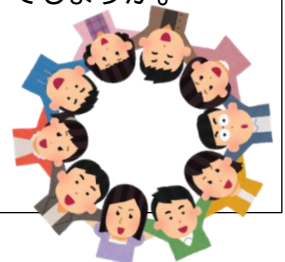
090-3615-4429(正木)

## つながりを絶やさない！地域づくり

イベント委員会では、「矢田ふる里まつりの活性化」を中心に、住民同士がつながりをもてるイベントについて検討しています。地域では、コロナウイルスの影響で軒並みイベントが中止となり、矢田ふる里まつりも令和2年度以降、3年連続で中止となってしまいました。

矢田ふる里まつりは、矢田地区で生まれ育った住民と、他地区から移り住んだ住民がお互いに交流を深めることを目的として、昭和57年から始まりました。この「まつり」があったからこそ、矢田地区では住民がチカラを合わせて様々な取り組みができる土壌ができたのではないのでしょうか。また、住民同士のつながりがあることで、子どもも安心して通学できるのではないのでしょうか。

少子高齢化、ライフスタイルの変化とともに参加者が減少傾向にあり、プログラムなどの見直しが必要となっています。子どもから高齢者まで様々な世代が交流でき、住民同士のつながりがもてる、ウィズコロナの矢田ふる里まつりを検討していきたいと思っておりますので、皆さんご協力よろしくお願ひします。



### 【地区社協ってなに？】

市内には8つの地区社会福祉協議会(略して地区社協)があり、地域住民をはじめ、自治会、民生・児童委員、老人会、PTAなど、各種団体やボランティアらが主体となって、住民一人ひとりの生活・福祉課題を地域の課題として受けとめ、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進する住民組織です。住民相互の支えあい活動を広げるため、講演会や世代間交流事業を開催したり、高齢者の見守り活動や健康づくりなどに取り組んだりしています。

高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民同士のつながりや見守り、支えあいの仕組みが必要となります。

生活支援体制整備事業では、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いの地域づくりを進めます。(大和郡山市委託事業)

【問合せ】大和郡山市社会福祉協議会 福祉課  
大和郡山市植槻町3-8社会福社会館内  
電話 53-6531/FAX 55-0986